

宇和島発！漁協・地域・自治体が連携した アマモ再生ブルーカーボンプロジェクト

一般社団法人宇和海環境生物研究所・愛媛県漁業協同組合吉田支所・富士通株式会社・宇和島市



■プロジェクトの概要

愛媛県宇和島市吉田町白浦の法花津湾において、**漁業協同組合・地域住民・企業・自治体が連携し、アマモ場の再生とCO₂吸収源の回復・拡大**を目指す中・長期的な取り組みです。

この取り組みは、2018年の西日本豪雨災害で消失したアマモ場の再生・保全を通じて、**海洋環境の回復とブルーカーボン創出**を推進し、**地域一体となる災害復旧復興**に取り組んでいます。

主な活動は、アマモの移植、海洋ゴミの撤去やその利活用研究、域内沿岸部潜水モニタリング・調査、環境教育、地域住民や子どもたちの参画による体験型学習など多岐にわたります。



西日本豪雨災害による被害状況

■プロジェクトの特徴・PRポイント

多様なコベネフィットに寄与

アマモ場の再生による生物多様性の保全、漁業資源の回復と地域経済の活性化だけでなく、子どもたちや住民が主体的に参加することで、地域コミュニティの結束強化、環境・防災意識の向上などに寄与しています。

持続的に成長するサイクルの実現

クレジット収入を藻場拡大や新技術導入、地域教育の充実に還元し、活動の持続性と地域経済の活性化を両立。クレジット取得により、地域の取り組みを可視化し、他地域への波及や企業連携も促進します。

環境教育・SDGs実践の場

出前授業や体験型学習を通じて、地域の子どもたちや住民が主体的に環境保全活動に参加。地域の誇りと未来への希望を育む取り組みとして高く評価されています。



有志によりアマモ場再生をスタート

環境教育（小学校等への出前授業）



環境教育（海藻養殖の体験型授業）



消失したアマモ場の再生を実現

